

## 大野市文化財保護審議会 議事録

令和3年12月14日（火）  
午前10時から  
学びの里「めいりん」洋室中

出席者 文化財保護審議会委員 5名  
生涯学習・文化財保護課 4名

### 会長挨拶

流行語大賞や、今年の漢字が発表され、年末が近づいていると感じている。コロナや異常気象などの暗いニュースばかりの中、野球の日本人の活躍が明るいニュースだと個人的に感じている。来年はコロナが収まりよい一年となるよう祈っている。

本日は、地域計画案と防火査察などが議事に挙がっているが皆様の協力をお願いしたい。

### 協議事項

- 1 文化財保存活用地域計画案について  
事務局にて地域計画案について説明

委員	関連文化財群の考え方で、今までの文化財に未指定文化財を入れて何かをやろうとしたときに、今までの文化財に対する我々の考え方と未指定の文化財の関係をどうするかもう少し分かりやすく出さないとよくわからないという話はしてきたが、やはりまだ分からない。その辺の取り扱いが大変難しい。 文化財の情報については、結構多くの資料が集まった。資料編でリスト化されたのが非常に大きいと感じる。 コロナの影響で十分な打ち合わせができておらず、地質の部分はまだ間違いが多く、修正が終わっていないので今後しっかりとしたい。
委員	文化財の活用は、今では観光資源として活用という傾向が強いように聞いた。協議会には市長部局からかなりの委員が出席しているが、この方々からそういう話は出たのか。
委員	話が出てきた時点でそういうものだと察していた。
委員	資料編はリスト化しただけで、一つ一つの詳しい情報を事務局は持っていないということか。
事務局	詳しい情報を持っているものもあれば、そうでないものもある。それも含め今後調査が必要である。

委員	遺跡については県の遺跡地図を載せただけで遺跡の名前はあるが、遺跡から何が出るのかそれぞれの遺跡の性格が何もわからない。資料編を見ても、さらに調査しようとしてもできない。たくさん遺跡の名前が載っているが、ほとんどは遺物が確認できないもので、どんな遺跡なのかほとんどわからない。調査と簡単に言うが、大変なことである。チームをつくって何年もかけてやらなければ、きちんとした資料にはならない。本格的に調査するならば、いくらでも協力する。
委員	今の指摘の通りだと思う。きちんと事実を確認することが大事である。
委員	策定委員会でも、出典を出すようお願いした。裏付けは最低限必要。概要版に本文には無い写真が使われている。
委員	あるというだけで、何を見れば詳しく調べられるのか、わからない。
委員	章立てはひな形があったのか。すごくボリュームがあって作るのは大変だったのではないか。
事務局	文化庁から指針が提示されている。第5章は任意項目であるが、他は必須項目である。
委員	絵画の中には絵馬も入るか。
事務局	絵馬も入る。大野市史図録文化財編を基にして入れている。
委員	大概の神社には絵馬がある。未指定文化財に入れているならたくさんあるはず。 計画の審議はこのまま終わりではなく、まだ審議は続くのか。
事務局	現在パブリックコメントを実施しており、その結果を受けて、修正したものを次回の協議会にかける。そこで決定して、今年度末に策定という形になる。
委員	協議会前にもう一回報告すること。
事務局	パブリックコメントの結果と今日いただいた意見を含めて、もう一度修正がかかるので、修正結果についてまた報告する。

パブリックコメント実施後に再度審議会を開催することで了承を得た。

## 2 文化財防火デー関連事業の実施について

### ア 文化財防火訓練の実施について

事務局にて日程等調整後、通知する旨で了承した。

### イ 文化財防火査察について

昨年度、降雪のため実施できなかった2か所について実施の了承を得た。